

岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 柴 成吉

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第3回)

2 開催日時 令和8年1月27日(火) 12:50~16:00

3 開催場所 恵那農業高等学校 体育館および会議室

4 委員 開催にあたり、委員による課題研究発表会参観を実施
○大宮 康一 岐阜大学地域協学センター准教授
○宮田 和也 岐阜県立国際園芸アカデミー副学長
○岡庭 隆 保護司
○小椋日南恵 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
○伊藤 政之 恵那市立恵那西中学校長
○吉村 彰夫 恵那市立大井第二小学校長
○丸山 鮎美 卒業生保護者
○伊藤 智穂 在校生保護者
学校側 柴 成吉 校長
水野 歩 教頭
坪内 芳憲 事務部長
堅野 剛史 教務主任
野々目佳世 進路指導主事
河島 隆浩 生徒指導主事
今井 章文 特別活動部長
野村 祐作 農場長

5 会議の概要

(1) 「課題研究発表会」の参観

(2) 自己評価 結果報告

各分掌の反省と次年度の取組について

- ・学校運営について
- ・教務部について
- ・生徒指導部について
- ・進路指導部について
- ・特別活動部について
- ・農場部について

(3) 学校経営計画について

今年度の反省と次年度へ向けての改善方策について

6 委員からの意見

- 意見1 本校の生徒はまじめで、目的意識を持っている生徒が多い。また、日頃のあいさつができる生徒も多く、外部からの来校者へのさわやかなあいさつが印象的である。
- 意見2 地域課題に取り組み、それをまとめ、諸々の機会で発表する。このような経験、このような機会に鍛えられ、成長している。
- 意見3 生徒会活動において、自分たちの生活を自分たちで暮らしやすくするための活動として公約を提言し、取り組んでいる。このような活動は社会に出た時に役立つ経験である。
- 意見4 地元を大事にし、地域に密着した活動から、他ではかなわない農高ブランドを作り上げている。
- 意見5 あいさつを大事にし、そこからコミュニケーションがつながっていくと考えると、日々の積み重ねが大切である。
- 意見6 イベント等において、良い経験の場がある。経験をし、学び、継続し、良い仲間と巡り合う、そのひとつひとつが成長につながっている
- 意見7 どういう生徒を育てたいか、何を大事にするのか職員の中で共有することを大切にしてほしい。
- 意見8 生徒本人が何をがんばり、何をやりたいのかをしっかりと考え、取り組むことができているかを検証しながら探究学習を進めてほしい。

7 会議のまとめ

課題研究発表会の参観に加え、自己評価とマニフェストの報告を行った。令和7年度の年度末評価（自己評価）や来年度に向けての改善方策について、各委員より本校の取組みに対する理解と肯定的な評価を得ることができた。地域課題を解決する学びの中で、専門高校生としてのキャリア教育を次年度にはさらに発展させたい。また、学校の方向性を明確に示し、学校運営に対する意見や要望を全職員で共有し、改善できることについて早急に取り組んでいきたい。